

フロテックス・タイル施工要領書

1. 下地の条件

- ・下地は不陸が無く平滑であり、油、ペンキ、ワックス及び埃等が付着していないことを確認して下さい。コンクリート+モルタル+セルフレベルリング下地の含水率は 8%以下（インテリアフロア工業会）が標準とされています。
- ・下地の含水率が 8%を超えるときには、しっかりと養生期間を取り乾燥してから施工してください。下地のアルカリ性湿気、塩化ビニルに含まれる可塑剤や接着剤と反応して臭気や不快感となり、クレームを起こすことがあります。下地の湿気は、水分計測器でしっかりと確認してください。



2. 材料の保管

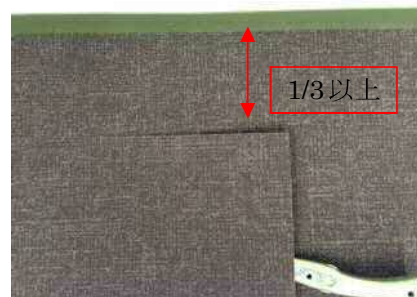
- ・材料は平滑な下地の上に 10 段まで積み上げ保管してください。
- ・材料は指定場所に搬入し、数量、ロットの確認をして下さい。

3. 接着剤

- ・一般タイルカーペットと同じピールアップ用接着剤を使用して下さい。
- ・接着剤のオープンタイムは、下地、季節、空調等の条件によって異なります。一般的には、ある程度乾燥してから施工を開始してください。目視判断としては、白色の接着剤が透明に変化した時点で貼り付けを開始してください。タイルのパイル長が 2.0mm のため、早めに接着しますとジョイントから接着剤が漏れ出てくる可能性がありますので注意してください。

4. 割付

- ・階段を除き、通常は市松貼りを標準とします。そのため、裏面に印刷されている矢印を確認して方向性を間違いないように施工してください。
- ・割付の方法に特別の指示がある場合を除き、原則として材料のロスが少なく、周辺部壁際等が極端に小さなサイズ（できればタイルサイズの 1/3 以上）のタイルが入らないように割り付けてください。
- ・出入り口、エレベーター前、歩行頻度の多い場所や汚れや損傷が生じやすい場所などは、交換が容易なように切り込みの入らない真物を施工するようにしてください。



5. 施工後の点検

- ・目違い、浮き、汚れなどの不具合の有無を点検し、不具合がある場合は処理をして下さい。
- ・発生した端材や裁ち屑などは、取り除き清掃をして下さい。必要があれば、掃除機で細かいゴミなどを吸い取ってください。

6. メンテナンス

メンテナンスで最も重要なことは、外部から室内に汚れを持ち込まないことです。そのためには、玄関の出入り口にはダストマットを施設してください。ダストマットを施設することにより、靴底に付着している土砂や汚れの原因となる物質を 80%以上取り除くことができます。次に大切なことは、メンテナンスの方法や頻度が守られているかが大切です。フロテックスは汚れにくいのではなく、汚れが目立ちにくいのと、付着した汚れがメンテナンスによって美観を取り戻すことが出来ることが特徴であり、他のカーペットとの違いであります。詳細は、別紙添付いたしますので参照して下さい。